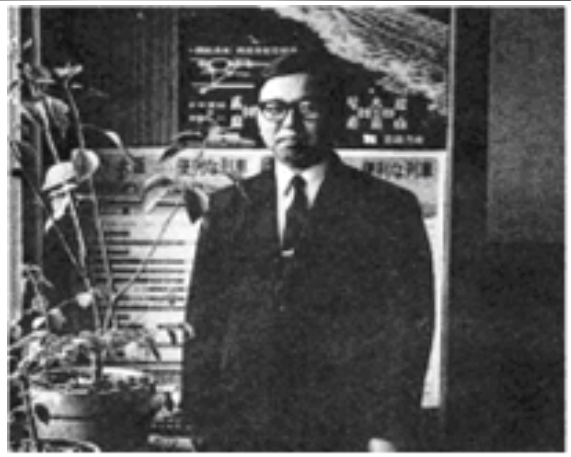


祝 創業40周年記念(株)日本交通社
& 浜野新社長就任披露パーティー



平成7年創業40周年(ホテル奥道後)



昭和41年私が入社時(湊町中道ビル)



平成28年創業60周年(国際ホテル松山)



昭和61年 創業30周年(大和屋本店)

じよじやんの楽しみ日記 ③4

「我が社も六〇周年」の巻

株式会社日本交通社も今年で創業六十周年を迎えました。昭和三十一年大阪市で設立と同時に松山に営業所が開設されましたが当時は旅行人口も少なく苦難の時代であったようです。

さて、私の旅行業人生は昭和三十八年、松商を卒業して伊予商運(株)に入社した時から始まります。半年位過ぎた頃、通学と同じバスに乗っていたご婦人が切符を買いに来られました。

『おばちゃん、原町からバスに乗っている方でしょう。』その方が(株)日本交通社の町田さんだったのです。どこに縁があるのか、何度かお会いするうちに、二十才にも満たない私を後継者として誘って下さったのです。

それと、今考えてみると、年若い私が会社を退めて商売の道に飛び込む一大決心をした時、黙って認めてくれた両親は息子の決断をどんな気持ちで聞いたのか、もし生きているなら聞いて見たい気がします。

私の入社した昭和四〇年代は高速道路の開通・大型フェリーの就航・新幹線等インフラ整備が進み、昭和四十五年の「大阪万博」で爆発的な旅行ブームとなり、高度経済成長時代の申し子とも言える良き時代でした。

昭和五〇年代は松山営業所が大阪本社から独立し、私の理想とする旅行会社を目指して一人歩きを始めました。海外と直接取引出来る国登録の「一般旅行業」の取得や航空会社の代理店、そして本社ビルの完成と総合旅行業者としての体制を整えることが出来ました。

しかし、平成に入り、バブルの崩壊、異常渇水、阪神淡路大震災等そしてデフレ経済となり経済不況が今も続いています。

旅行業はそのうえに旅行形態(団体から個人)の変化、インターネットの発達等による旅行者離れなど試練の時代を迎えています。「不況業種といえども必ず好況の会社はある」を信じてこれからもこの厳しい時代を生き抜いて参りたいと思います。



中村剛志

平成28年4月号